

田村市立船引南中学校 実践研究テーマ「主体的に行動し、対話と協働を通して 社会と向き合いながら自己実現を図る生徒の育成(2年次)」

1年生の取組 学級活動(1)

- 議題 「学級目標(協力:みんなで助け合うクラス、努力:自分の苦手な努力するクラス、挑戦:失敗を恐れずに助け合うクラス)を達成しよう」
- 本時のねらい 学級生活に目を向け、学級の課題を見つけ、意見を出し合って解決策を見出すことができる。
 - ・ 学級や学校の生活をよりよくするための課題を見出し、多様な意見を生かして合意形成を図ろうとする。
- 本時の概要 学級役員が司会進行を行い、班での活動を通して、学級の課題を全体で話し合う。

○生徒の姿

話し合いの中で、「男女の仲をもっとよくしたい」という意見が出たので、男女で交流ができ、みんなで楽しめる集会を開こうということになった。次時に、集会のネーミングを決める話し合いを行い、「友情を深めよう集会」という名称に決まった。



- 議題 「『友情を深めよう集会』を企画しよう」
- 本時のねらい よりよい人間関係を築くための企画内容を決める。
 - ・ 話し合いの目的を理解し、多様な意見を生かして合意形成を図る。
- 本時の概要 学級役員を中心に、学級の交流を深めるためのレクリエーションの種目について話し合い、内容を決定する。

○生徒の姿

グループごとに意見を出し合う姿が見られ、時間はかかったが、学級役員がそれらの意見を上手にまとめ、2つの種目を決定することができた。



2年生の取組 学級活動(1)

- 議題 「飛翔祭の学年発表を考えよう！」
- 本時のねらい 飛翔祭の学年発表の内容を決めることができる。
 - ・ 合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。
 - ・ 学校の生活をよりよくするための課題を見出し、多様な意見を生かして合意形成を図ろうとする。
- 本時の概要 学級役員を中心に、学年発表の内容について話し合う。

○生徒の姿

学級で「生徒や保護者の方の疲れが吹き飛ばすように、体育館中を笑い声でいっぱいにする。」というテーマを決め、学級役員を中心に話し合い活動を行った。合意形成の結果、劇に決まり、台本や小道具などを作る班に分かれ、計画的に進めることができた。リハーサルを重ね、改善し、本番の発表は大成功した。



- 議題 「新入生説明会で6年生に楽しんでもらおう」
- 本時のねらい 小学校6年生が中学校生活を楽しみに思うような企画内容を決めることができる。
 - ・ 学校生活をよりよくするための課題を見出し、多様な意見を生かして合意形成を図る。
- 本時の概要 学級役員を中心に、新入生説明会の内容について話し合いを行う。

○生徒の姿

新入生説明会の意義を考え、学級で「楽しく安心できる学校生活を知ってもらおう」というテーマを決め、学級役員中心に内容を話し合った。小学6年生に寄り添った企画を考えることができた。



田村市立船引南中学校 実践研究テーマ「主体的に行動し、対話と協働を通して 社会と向き合いながら自己実現を図る生徒の育成(2年次)」

3年生の取組 学級活動(1)

- 議題 「飛翔祭の学年発表を考えよう！」
- 本時のねらい 一人一人が積極的に話し合いに参加し、学年発表の内容を決める。
- 本時の概要 実行委員の生徒会役員が司会進行を務め、学年発表の内容について話し合う。



- 生徒の姿 2つの内容について話し合うことに整理されたので、2班にわかれ、学年発表の内容を話し合った。当日は、一人一人が役割を自覚し、全員参加で学年発表を行った。

- 議題 「全校生が盛り上がる体育祭の種目を考えよう！」
- 本時のねらい 全校で盛り上がる可以考虑の企画を考え、仲間と協力して、積極的に意見を出し合い、多様な意見を生かしながら合意形成に向けて取り組むことができる。
- 本時の概要 学級役員が司会進行を務め、全校生が楽しめる体育祭の種目について話し合いを行う。



- 生徒の姿 学級対抗の種目について、学年によらず全員が楽しめるようにルールを工夫して考えていた。また全校生で交流できるよう縦割りで行う種目も考えた。当日はどの種目も白熱し、全校で盛り上がる体育祭となった。振り返りの時に、笑顔で話す生徒の姿から達成感や充実感がうかがえた。



研究のまとめ

「自己決定をして主体的に行動したり、相手と合意形成をして協働したりするなど、生徒が主体となる活動」を、各教科や道徳科、特別活動、総合的な学習の時間など学校教育全体の活動に広げた。

【各教科】

- 課題解決に向けて、教師は支援に回り、生徒同士で解決できる授業を展開した。
 - ・ 課題に主体的に取り組む生徒が増え、わからないところを友達に聞いて学ぼうとする生徒が増え、積極的に生徒同士で解決しようとする姿が見られた。
 - ・ 相手の考えを知り、ともに考えを深め合うことで、自己の認識を練り上げ、他者に対する調和する力が高まった。



【道徳科】

- 登場人物を自分に置きかえて考えたり、実生活と結び付けて考えたりする場を設定する。
 - ・ 自己を見つめ、人間としての生き方について考えを深めている姿が多く見られた。

【特別活動】

- 学級や学校生活をよりよくするために何ができるかを考え、話し合い、実践する活動を多く設ける。
 - ・ 他者と協働して課題を解決するよさを実感し、全体の場でも積極的に発言する生徒が増えた。

【総合的な学習の時間】

- 達成感や満足感を味わわせ、自信や自己有用感を高めることができるよう、体験的な活動を設定したことで、学びを深めることができた。
 - ・ 緊張感をもって未経験の事柄へ挑戦することで、自分で一歩を踏み出す意欲を引き出すことができた。

各教科や道徳科、特別活動、総合的な学習の時間など、学校教育活動全体で生徒自身が決定したり、相手と合意形成したりする場面が増え、自主的・実践的に解決しようとする姿が多く見られるようになった。また、自分たちの学校を自分たちでつくり上げようとする意欲の高まりが感じられるようになった。

今後、生徒が学習や活動で身に付けた力を、実生活で生かすことができる場を設定することで、その意欲を引き出す働きかけを教師側で仕掛けていきたい。